

国土交通
大臣認定

不燃・準不燃木

浅草文化観光センターの壁と天井に、
国産不燃無垢多摩産材を使用して頂きました。

壁材に不燃処理をした杉(無節上小節)、天井ルーバー材に
不燃処理をした杉(節有)を納品しました。



不燃

風合い豊かな無垢材が、
12～50 ミリ厚で不燃認定
不燃系木材の研究開発から 20 年の経験で、現時点では最高と認識
している浸漬方式で製造させていただいております。

準不燃

手軽な施工で無垢材の空間造りに
不燃系木材の研究開発から 20 年の経験で、現時点では最高と認識
している浸漬方式で製造させていただいております。

不燃無垢材の 5 つの特徴

桧 不燃認定有り

杉 不燃認定有り

環境

地球環境を配慮し、ウッドマイレージなどにも貢献で
きる国産材の需要向上、地場産の活性化を目的に製
品作りに取り組んでいます。よって、国産材では主流
な杉、桧での認定を取得しております。

低価格

準不燃同様、大規模な設備を要しない浸漬法では、
安定感のある製品づくりだけでなく、コストダウンにも
貢献しています。

多仕様

板厚 12mm～50mm で認定を取得しております。用途
も広がり、デザイン羽目板、ルーバー、デッキ材、柵
材などへの対応も可能です。外装使用も可能なのも
特徴です。地場産材の持込み加工についても対応い
たします。

素材

浸漬工法のほか、乾燥には自然乾燥とオリジナルの
低温型の乾燥システムを併用していますので、素材
に余分な負荷をかけない為、無垢材の素材感を損な
わない仕上がりになっています。白華現象が起きに
くいのも特徴です。

安全

認定申請の本試験で使用するコーンカロリメーター
によって品質確認をし、高品質の製品作りに努めてい
ます。
製造法では安定度の高い浸漬法を採用しておりま
す。

準不燃無垢木材のハイブリッドタイプとは

桧 準不燃認定有り

杉 準不燃認定有り

6mm 厚の準不燃処理無垢板と準不燃材料(石膏ボード9.5mm 厚等)
を組み合わせる準不燃認定を取得した製品です。

メリット

1. 安全

無垢材の個体差による性能誤差を完全カバーし、より安全になります。

2. コストダウン

現場施工、運搬も軽減され、工期短縮、コストダウンにつながります。

3. 汎用性

リフォーム工事等では既存壁を活かして施工可能です。
腰壁、天井には新築工事でも多く採用されております。

下地材
準不燃または不燃
材料(石膏ボード、ケ
イカル板など)
※各現場でご用意
下さい

現場
貼付

合体して
準不燃

準不燃処理無垢板 6mm

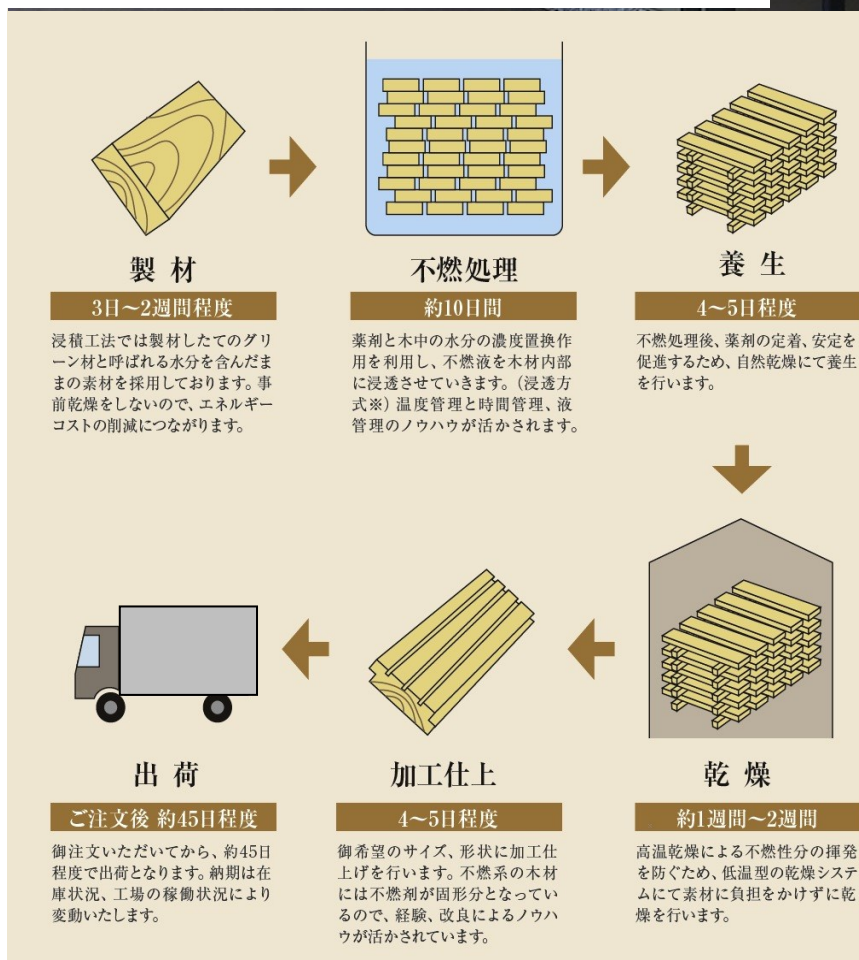
オプションカラーにも対応

杉材は別注でカラー指定も可能です。木の香りを残す塗料
だから風合いも抜群。詳しくはお問い合わせ下さい。



東京大学大学院情報学環 ダイワユビキタス学術研究館

不燃処理した杉板 t15mm w550・750・950・1150 4種類のユニットを
長さ2650～870 でパター配置



K保育園

不燃処理した杉(無節上小節)
を天井材に納品しました

※浸漬方式とは

浸漬方式とは、いわゆるドブ漬けの事です。非常にシンプルなので、大掛かりな設備も不要で、木本来の作用を利用して不燃液を浸透させますので、均一な不燃処理加工が可能になりました。

処理後の乾燥も高温ではなく、低温除湿型の乾燥システムを採用していますので、仕上がりも美しく、高品質で低価格な製品化を実現しています。

※防火材料の基準とは？

通常の火災に相当する加熱が加えられた時に、

1. 燃焼しないものであること
 2. 防火上有害な変形、熔融、亀裂その他の損傷を生じないものであること
 3. 避難上有害な煙またはガスを発生しないものであること
- という条件を満たし、1の燃焼時間が、不燃は20分、準不燃は10分、難燃は5分というように別れています。

認定取得のための試験は、国が定める検査機関に四検体を提出し、ある温度、湿度を一定に保たれた容器で10日ほど保管された後、試験が行われます。試験方法は国際基準のISOに準じ、1の燃焼試験は、コーンカロリメーターを用いた発熱量の測定、2の試験は主に検査官の目視、3の試験はマウスを使った試験により、それぞれ、性能を確認され、その結果を評価委員会にかけ、国交省で最終審査を受けた後、認定番号が発行されるシステムになっています。

2016.04 版